

第9期ゴールドプランながはま21アンケート調査について

調査名	調査内容	調査対象	調査件数	調査方法
高齢者実態調査	厚生労働省が示す「日常生活圏域ニーズ調査」に基づきつつ、当市の地域性を考慮して調査項目（在宅医療・看取り、認知症のある人とその家族を支える地域づくりに関する設問等）を加えた内容の調査票（自由回答有）を作成し、調査を行う。	65歳以上の高齢者	8,100人以上 （無作為抽出）	郵送配付、郵送回収、WEB回答による回収
在宅介護実態調査	厚生労働省が示す「在宅介護実態調査」に基づきつつ、当市の地域性を考慮して調査項目（認知症のある人とその家族を支える地域づくりに関する設問等）を加えた内容の調査票（自由回答有）を作成し、調査を行う。	在宅介護サービス利用者及びその家族	600人以上 （在宅で介護を受ける要介護認定更新対象者）	認定調査員による聞取り、郵送回収、WEB回答による回収
高齢者保健福祉に関する調査	医師、介護支援専門員、訪問看護師・介護職員、介護サービス事業所に在宅医療・看取り、認知症、介護事業等に関する調査を実施し、地域で看取りを行う体制、認知症のある人とその家族を支える地域づくり、介護人材の確保定着育成する体制等を構築するための課題の洗い出し、今後の施策推進の基礎資料とする。	医師 190人	900人以上	郵送配付、郵送回収、WEB回答による回収
高齢者保健福祉に関する調査		介護支援専門員 160人		
高齢者保健福祉に関する調査		訪問看護師・介護職 310人		
高齢者保健福祉に関する調査		介護サービス事業所 240事業所		